単元名：

「式の値の大きさを比べよう」

(全○時間扱い中 第○時)

授業日時 2019年6月26日(水)第5校時

授業学級 1年A組

授業会場 1年A組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

文字にいろいろな数を代入して式の値を求めたり、その大小関係について根拠を基に説明することができる。

(2) 授業のポイント

- ・式の意味を考える場面で、文字式が何の数量を表しているか考えたりした。【前時までの子どもの様子】
- ・文字に様々な数を代入した時の式の値の大小関係を取り上げることを通して、その大小関係について分かったことを根拠を明らかにして説明する。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 式の値の大きさを比較させる。 復習: (1) 4つの文字式 $2+n, 2 \times n,$ $2-n, 2 \div n$ のうち、 $n=1$ を代入してみよう。 (2) 文字の値が $n=2$ の時はどうだろう。	○「復習として $2+n, 2 \times n, 2-n, 2 \div n$ の式の値を求めよう。 $n=1$ ではどうなるかな。」 「 $2+n$ が1番、 $2 \times n$ と $2 \div n$ が2番、 $2-n$ は4番になっているね。 $n=2$ を代入してみよう。」 (意図) $n=1$ と $n=2$ の時式の値の大小が変わることに注目させる。 ◇一斉指導で計算させる。	7分
	2. $n=3$ 以上を代入したときの予想をつける。 ・学習問題を提示する。 【学習問題】 n が3以上になっても順番は入れかわるのかだろうか。	○「 $n=2$ の時順番が変わったね。 $n=3$ 以上も順番が変わるのかな。」 (意図) 自由に予想させる。代入せざるを得なくする。 ◇予想ができた生徒には予想した理由を尋ねる。 「 $2-n$ の式の値はどんどん小さくなる」 「 $2 \div n$ は分母が大きくなるから1より小さくなりそう」 などの意見が出れば取り上げて発表してもらおう。	
展開	3. 学習問題を解決する手立てを考える。 ・学習課題を設定する。 【学習課題】 どんどん代入して、表にまとめながら明らかにしていこう。	○「 n にどんどん代入していけば分かりそうだね。」 「どのように整理するとわかりやすいかな。」 (意図) 表にまとめることを引き出す。 「調べたことは表にまとめていきましょう。」 ※互いに確認させる。 ★表にまとめて大小関係を比較する。	3分
	4. 表にまとめる。 ($n=1$ から $n=5$ まで)	◇表にうまくまとめている生徒のワークシートの写真をタブレットで撮っておく。	